

学習指導案

科目名	工業情報数理	指導クラス	1年	指導者		実施日	令和4年○月○日
教科書	精選 工業情報数理 (実教出版719)		単元名	第3章 プログラミング			
本時主題	第7節 繰返し処理(1時間目/全2時間中)						
本時の目標	IF文(選択)のプログラムを作成することができる(復習) FOR文(繰返し)のプログラムを作成することができる。						
単元の評価規準	知識・技術 a ・選択処理や繰返し処理の使用 する命令について理解し、プロ グラムを作ることができる。	思考・判断・表現 b ・プログラムを読んで、どのよ うな結果が出力されるか考察し 説明することができる。	主体的に学習に取り組む態度 c ・プログラムに関心を持ち、意欲 的に学習に取り組み、協働して学 ぼうとしている。				
時間	指導内容	生徒の学習活動	評価の場面・ 方法	評価の観点 a b c			教師の指導上の留意点
導入 15分	○前時の復習 本時の目標 の確認	[タブレットの準備] 選択処理 復習 ・manabaにて回答 (10分) ・振り返りを行う ・タブレット及びスマホを しまう	・タブレット 確認	○			・タブレットが起動しない及 び忘れた者はスマホにて回答 させる ・正答率が低い部分について 解説を行う ・実際にBASICを動かし、解説 を行う
展開 30分	○本時の目標 の確認 (FOR文) 教：P106～ ○練習問題12 を解く 教：P109 ○グループワ ーク	・ノート・教科書を机上へ ・WBに注目しノートを取る。 ・練習問題12- を解く ・練習問題12- を解く ・練習問題12- を解く ・丸付けを実施(12-①) 練習問題12- 付近の人と解 答を共有する	・行動観察				・ノート及び教科書を机上に 出させる ・WBに注目させ、板書内容を ノートに取るよう指示 ○机間指導 ・例題を見ながら解くように 指示をする ・周りの人と相談しながらや ってもよいと声をかける ・出来具合をみながら、解答 を導けなさそうなら、WBにヒ ントを記入していく。 ・WBに答えを投影する(ヒント を出していれば直接記入) ・周りの人と解答を共有する ことを指示する
まとめ 5分	本時のまとめ 次時の予告	・本時学習した内容を振り返 る(IF文・FOR文) ・次時の学習内容を理解する					・本時の目標を達することが できたか確認し、次回の授業 の予告をする

実施後の課題点等

・IF文復習時に、タブレット起動に時間を要し、主題の時間が少なくなってしまった。円滑な授業進行のためにも、生徒には予めタブレットの整備と休み時間に起動させておくなど、下準備が必要であると考えた。
・個人で作業する時間が多く、発問の回数が非常に少なくなってしまった。manabaにて理解度を確認することもできるが、発問でリアルタイムにおける理解度を確認し、分からないまま進むことのないように実施すべきだと考える